

事業概要	<p>十字屋グループは、真庭市を拠点とした一般廃棄物収集運搬や浄化槽維持管理を主業務とする真庭環境衛生管理(株)をはじめ、5つの企業からなるグループです。業務は環境衛生、エネルギー、販売、飲食、建築、農業など多岐に渡っており、教育、福祉、地域文化発展への出資も通して幅広く活動を展開しています。</p> <p>地域課題の解決と先進的で持続可能な地方モデルの創造を目指し、真庭市及び賛同企業や他団体と協働し情報の発信や地域づくりを行っています。また他自治体と災害協定を結ぶなど、周辺地域とも協力し活動を行っています。</p>
部署	真庭あぐりガーデン
所在地	〒719-3145 岡山県真庭市西河内696-43
連絡先	(電話番号)0867-45-7333 (E-mail)info@maniwakankyo.com
環境省ローカルSDGsを通じて、実現したい社会像	<p>真庭市は2015年より「真庭ライフスタイル」を掲げ、地域住民誰もが地域を大切に思い主体的に暮らせる持続可能な社会を目指した取組を行っており、2018年には「SDGs未来都市」にも選定されました。真庭ライフスタイル実現のためには、住民自身の主体的行動・成長、次世代育成、安心して暮らせるまちの基盤づくりが求められています。</p> <p>当グループでは真庭市及び他団体と協働して、住民参加型のイベント・ワークショップの開催等による【普及啓発活動】と、住民の生活基盤を構築するための【まちづくり】を実践し、地域課題の解決と、住みやすく持続可能な地域の維持・発展の実現を目指しています。</p>

ローカルSDGsの実現に貢献できるソリューション

分野

観光ビジネス／脱炭素／林水産業・地場産品／サーキュラーエコノミー／健康・福祉／防災／その他(環境保全、パートナーシップ構築)

**【普及啓発活動】**

- ・住民参加型SDGsイベント・ワークショップの実施
- ・SDGs学習機会の創出

**【まちづくり】**

①地域助け合い

- ・「なんでもし隊」(住民の困りごと解決サービス)の支援活動
- ・医療面の支援活動(ICT技術を活用した医療サポートへの支援、食事提供等)

②循環型社会づくり

- ・バイオマス資源のエネルギー化とバイオ液肥を利用した循環型農業の構築
- ・農業関連福祉事業の実施(高齢者グループの野菜カット事業、田植え体験等)

③環境保全(自然エネルギー・水処理技術の普及・活用)

④災害時支援活動(設備・非常食等の保有、防災・救命訓練、災害協定締結等)

⑤文化発展・福祉への貢献等(環境教育・コンクール実施、NPO・福祉施設への出資等)

**【持続可能な未来を創造する普及啓発活動】**

○住民参加型SDGsイベント・ワークショップの実施

「SDGs DAY」では、参加者にマイ箸やマイカップ・タンブラーを持参してもらい、地元飲食店が地域産品を活用した食事などを提供するほか、参加者がそれぞれのSDGs行動目標を記入した短冊を入れた3,000本のペットボトルからなる巨大なSDGsツリーや、SDGs宣言書、子ども達がSDGsカラーの布を切り貼りした大型アートの作成といった住民参加型の企画を実施しました。その他にも真庭発オリジナルヒーロー「SDGs戦隊ジュンカンジャー」のコーナー、地域グループのダンスパフォーマンス、SDGsに関わる商品の販売、スタンプラリー、ワークショップ、早押しクイズ大会、リサイクルマーケットなども実施しています。誰もが気兼ねなく立ち寄ることができ、気軽に見学や参加、交流ができ、楽しみながらSDGsについて知り考えることができる場を創出しています。

URL

<https://www.jyujiya-group/>

ローカルSDGsの実現  
に貢献できるソリュー  
ション



ワークショップの様子とライトアップされたSDGsツリー



SDGs宣言書



SDGs戦隊ジュンカンジャー

ローカルSDGsの実現  
に貢献できるソリュー  
ション

イベントを実施したレストラン併設型複合ショップ「真庭あぐりガーデン」には、いつでも誰でも出せる資源回収ボックスの設置や、高齢者の手仕事創出を目的としたカット野菜「お節介野菜」の販売、生ごみを原料としたバイオ液肥で育てた製品の販売なども行っており、地域住民の方や観光客へ意識啓発を促すとともに、いただいた恩恵を還元する活動も実施しています。

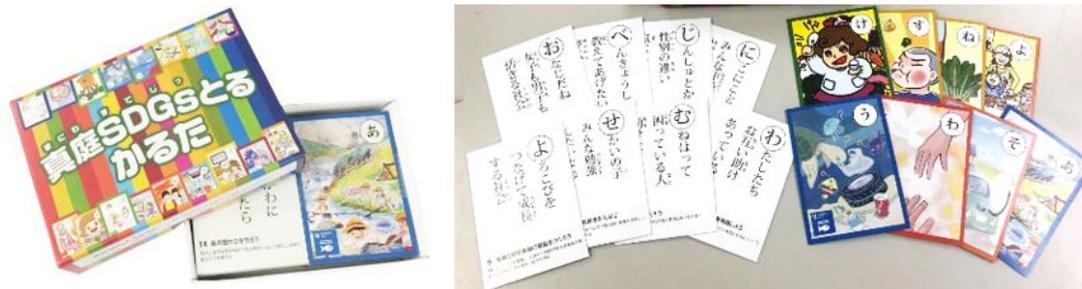


資源回収ボックス

高齢者による野菜カット事業「お節介野菜」

## ○「SDGs」学習機会の創出

学校や家庭などでもSDGsに親しんでもらうため、子ども達から標語を募集し作成した「SDGsかるた」の販売や、SDGs戦隊ジュンカンジャーの動画をインターネット上で公開する取組を行っています。



SDGsかるた(真庭市SDGs普及啓発の委託事業)

ローカルSDGsの実現  
に貢献できるソリューション

### 【持続可能なまちづくりのための包括的支援活動】

#### ①地域助け合い

##### ○「なんでもし隊」の支援活動

粗大ごみ処分や買い物手伝い、高所作業や修理作業といった日常の困りごとから、家周りの補修、各種工事、パソコン関係、各種代行といった様々な生活問題解消に取り組んでおり、特に高齢者への支援として活用されています。開始からの15年間で作業実績は1万件を突破し、気軽に頼みやすい顔の見える支援として定着しつつあります。



「なんでもし隊」法面補強

#### ○医療面の支援活動

今後新たに医療方面への支援として、岡山大学発のベンチャー企業である「株式会社そなえ」と提携し、周産期医療において最先端のICT技術を活用した緊急時や将来の医療サポートを支援していくほか、真庭市の総合病院である落合病院へも地元産の米や野菜を活用した食事を提供するなどの取組を行う予定です。

#### ②循環型社会づくり

##### ○バイオマス資源のエネルギー化とバイオ液肥を利用した循環型農業の構築

限られた地域資源を循環活用するため、関連団体と協働し、生ごみをメタン発酵によりバイオガス化し発電に利用する取組を行っています。発酵残渣であるバイオ液肥を農地還元することで、循環型農業も推進しています。バイオガス化施設は地域内外からの視察のほか、バイオマス発電所と合わせてバイオマスツアーや市民向けのオーダーメイド型SDGsツアーに組み込まれており、地域のつながりを大切にした観光の発展や市域を越えたパートナーシップの構築と技術の普及推進につながっています。

ローカルSDGsの実現に貢献できるソリューション

また6次産業化支援として、農産物の加工施設・集荷施設の建設、アンテナショップ運営、育苗・苗販売など、トータル支援の体制構築を目指しています。



地域循環型バイオガスシステム構築モデル事業

ローカルSDGsの実現に貢献できるソリューション

#### ○農業関連福祉事業の実施

関連NPO法人と協働し高齢者による野菜カット事業を実施しているほか、地域農業関係者と協働し子供たちへの田植え体験を実施するなど、地域を育てる活動を展開しています。



田植え体験の様子(バイオ液肥を利用した田んぼ)

#### ③環境保全

自然エネルギーの有効活用として、メタン発酵による電気・熱の生産・利用のほか、太陽光発電システムやバイオマス発電の普及・活用に取り組んでいます。また水環境の保全のため、膜ろ過技術を活かした地下水や雨水などの水処理事業、水処理システムの普及を推進し、生活環境の改善に取り組んでいます。

#### ④災害時支援活動

災害に強いまちづくりを目指し、設備・非常食等の保有や、住民との防災・救命訓練実施による地域ぐるみの危機管理に取り組んでいます。激甚災害に備え近隣自治体との災害協定を締結しており、災害廃棄物・避難所ごみの収集運搬や、仮設トイレの設置・し尿処理・汚泥処理支援、食料や燃料の提供等の相互支援を行うこととしています。また、全国の一般廃棄物関連事業者で構成する組合にも加盟し、災害時の相互支援体制やシステムの構築に取り組んでいるほか、AMDAとも災害協定を締結し、水や環境衛生の面で支援を行っています。

ローカルSDGsの実現  
に貢献できるソリュー  
ション



災害協定調印式



西日本豪雨(2018年)での災害支援活動

⑤文化発展・福祉への貢献等

環境学習や環境絵画コンクールの開催、文庫館の設立や歴史展示を行っているほか、NPO・福祉施設への出資や支援を積極的に行うことで、文化的生活の質の向上、高齢者の受け皿の確保を図り、多世代が共生できる持続可能な社会の構築を目指しています。



環境絵画コンクール



環境学習の様子

## 自者の特徴

- ・大正5年の創業時より「共生」の理念を掲げ、地域社会への貢献活動を実施。
- ・時代や社会、事業の多様化にともない活動を拡大、約15年前に「なんでもし隊」を発足し、これを機に住民主体の支援活動を幅広く展開。本業が市域を回る地域密着型事業であることを活かして、メディアやインターネットの利用が困難な方にも声かけ・呼びかけを行い、周知を図っています。
- ・「真庭市SDGsパートナー」に登録し、様々な分野・地域・対象を越え多岐に渡る貢献活動を実施。外部団体ともSDGs活動を通じた良好なつながりの構築に尽力しています。
- ・職員の自発的なSDGs推進活動が活発化し、新規事業プロジェクトチームの発足やSDGs事業の創出・始動といった事業継続性強化にもつながっています。
- ・「おかやまSDGsアワード2020」受賞。真庭市よりSDGsへの取組について市民の環境保全や資源循環への意識向上に寄与したとして、令和2年度一般表彰。

## SDGs経営に向けた自者の課題や悩み

地域内では自治体・各団体との連携が進んでおり活動の幅も広がっていますが、市域外の自治体・各団体との連携を拡大するためには、市域を越えての情報発信の強化が必要となっています。情報発信の場や交流の機会を増やし市域外の方々とパートナーシップを構築すること、そして真庭市の取組を地域モデルとして普及推進することで、より広がりのある地域循環共生圏の構築を目指したいと考えています。

今後も各団体と協働し、時代に対応した幅広い貢献活動を実施し続けますので、ぜひお力添えいただき、ともに取り組んでいけたらと思います。